

氏名	矢 守 楠 雄		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 4 1 9 号		
学位授与の日付	昭和45年 3 月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)		
学位論文題目	眼疾患患者尿中の遊離アミノ酸に関する研究		
論文審査委員	教授 水原舜爾	教授 山崎英正	教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

- 1) 網膜色素変性患者11例の尿中アミノ酸のペーパークロマトグラフィーによる定性分析で2つの未知のspotが本症に特有のものと推定され、Laurence-Moon-Biedl 症候群患者1例を含む網膜色素変性患者5例の24時間尿中アミノ酸のカラムクロマトグラフィーによる定量分析で、Laurence-Moon-Biedl症候群患者はCystinuria 不完全劣性型で、網膜色素変性全体ではTyrosine-Phenylalanine分画に軽度の増加が認められた。Marfan 氏症候群患者4例の24時間尿中 peptide Hydroxyproline のカラムクロマトグラフィーによる定量分析で、36~96mg (平均64.5mg) と、正常者4例の20~34mg (平均25.0mg)に比して増加がみられた。Lowe氏症候群患者1例に α -Aminodipic acid, α -Amino-n-Butyric acidを伴うアミノ酸尿が認められた。
- 2) 岡山県立盲学校生徒162名、島根県立盲学校生徒115名、計277名に、主にアミノ酸代謝障害症の尿スクリーニングを施行した結果、相当数の陽性例を得た。
- 3) Homocystinuria が、本邦に於て未発見の症例が多数存在する事を推定され、また眼疾患との関連性が深い事を推定された。

以上の事より、眼科領域に於ても尿中のアミノ酸及び中間代謝産物の定性または定量検査が重要で、尿スクリーニングテストが、早急に眼科外来に於けるroutine の検査として施行される事が望まれる。

第1報：昭和42年9月 日本眼科学会雑誌 第71巻第9号に掲載

第2報：昭和44年6月 日本眼科紀要 第20巻第6号に掲載

第3報：昭和44年12月 日本眼科紀要 第20巻第12号に掲載

第4報：昭和45年2月 日本眼科紀要 第21巻第2号に掲載

論文審査の結果の要旨

本研究は、網膜色素変性患者、Marfan症候群患者、Lowe 症候群患者及び盲学校児童について尿中アミノ酸の分析を行い各種眼疾患における尿中アミノ酸排泄状態について、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。